

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									3.6
Q-1 室内環境									3.3
1 音環境									2.3
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									3.9
2.1 室温制御									
1 室温設定									
2 暖房・冷房・通気制御									
3 外皮性能					W				
4 ゾーン別制御性									
5 温度・湿度制御									
6 個別制御									
7 時間・空間に対する配電・配管システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
レベル3程度の空調のゾーニングがなされており、さらにゾーン別に加湿機能・除湿機能を有し、かつ45%~55%の範囲の湿度を実現									
3 光・視環境									3.2
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備					W				
3.2 グレア対策									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御					W				
3.3 照度									
1 照度									
2 照度均斉度									
3.4 照明制御									
ブラインドに、スクリーン、オーニング、庇のうち1種類以上を組合せ 750lx ≤ [照度] < 1000lx									
4 空気質環境									3.3
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染									
2 臭気									
3 タバコ									
4 レンガ対策									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建									
Q-2 サービス性能									4.2
1 機能性									4.4
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1人当たりの執務スペースが12㎡以上。 OAフロア等によりレイアウト変更に対応できるようになっており、か バリアフリー新法の建築物移動等円滑化規程(最低限のレベル)を									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
事務室の天井高2.7m以上となっており、かつ、すべての執務者が レベル4+自動販売機等の設置。 評価する取り組みのうち4つに該当する。									
2 耐用性・信頼性									3.6
2.1 耐震・免震									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W				
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W				
3 配管・配線材の更新必要間隔					W				
4 主要設備機器の更新必要間隔					W				
16年以上~30年未満									
2.3 適切な更新									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									
評価する取組みが3つ以上。 評価する取組みが2つ。 評価する取組みが3つ以上。 耐震クラスA(Bクラスに加えて、大きな補修をすることなく重要な機 評価する取組みが3つ。									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
3 対応性・更新性					4.5	0.29	-	-	4.5	
3.1 空間のゆとり					5.0	0.31	-	-		
1 階高のゆとり				3.9m以上	5.0	1.00	3.0	-		
2 空間の形状・自由さ					-	-	3.0	-		
3.2 荷重のゆとり				3500N/m ² 以上	4.0	0.31	3.0	-		
3.3 設備の更新性					4.6	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性				外部空調配管、天井スペースが確保されることによって、構造部材	4.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性				構造部材、仕上げ材を痛めることなく修繕、更新できる。	5.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性				構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新が	5.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性				仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新ができる。	5.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性				主要設備機器の更新に対応したルート又はマシンハッチが確保さ	5.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保				バックアップ設備のためのスペースが計画的に確保されている。	4.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.35	-	-	3.4	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G		周辺のまちなみや自然景観等に対して、充実した取組みが行われ	5.0	0.20	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					4.0	0.40	-	-	4.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	地域性・アメニティへの配慮に関して比較的多くの取組みが行わ	4.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		評価する取組み表の評価ポイントの合計値が5~6ポイント	4.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.40	-	-	2.9	
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1	
1 建物の熱負荷抑制	W			[PAL値] ≤ -25%	5.0	0.15	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.24	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化	W				2.5	0.36	-	-	2.5	
4 効率的運用					3.0	0.24	-	-	3.0	
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-		
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.9	
1 水資源保護					3.6	0.15	-	-	3.6	
1.1 節水	W			レベル3の器具に加えて、省水型機器(例えば省音、節水型便器な	4.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材					2.7	0.65	-	-	2.7	
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-		
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.6	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15	-	-	3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0	
2.1 騒音					3.0	0.50	-	-		
2.2 振動					3.0	0.50	-	-		
2.3 悪臭					-	-	-	-		
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0	
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-		
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.9	0.30	-	-	3.9	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制				評価する取組み表の評価ポイントの合計値が4ポイント以上	5.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	評価する取組み表の評価ポイントの合計値が6~7ポイント	4.0	0.30	-	-		

■ LR-1 用途別得点表		工場	事務所	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		3,248 m ²	3217 m ²	-	-	5.0
3 設備システムの 高効率化	ERRIによる評価 個別設備による評価	-	データ未入力	-	-	2.512211228
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	
3.2 換気設備		-	5.0	-	-	
3.3 照明設備		5.0	5.0	-	-	
3.4 給湯設備		-	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	